

シタル為會長鈴木文治及松岡豹吉、治安警察遠
反トテ刑事訴訟ニ附セラレタリ

社会主義者トテテ

本會幹部一部於六近時社会主義的色ヲ濃キヲ
加フル傾向アル其講演又宣傳等ハ均ク徳モ明ナリ
現ニ大正十年有機關雜誌「労働」ニ「労働運動、進
化」ト題シ「階級意識アル労働組合依リ資本主義的經
濟組織、根本ニ大改造ヲ加ヘ労働者ヲシテ賃銀奴隷ノ羈
絆ヨリ解放シ生産者トシテ自由ト獨立トヲ獲得セルメトス
ル大理想ヲ以テ其運動ノ指導的精神ト為シカ如キ記事
アリ

然レトモ大同盟トシテハ現在社会主義的運動ニ對シテハ

敬遠主義ヲ執リ労働組合ニ級上ト絶対シシコト

即チ大正九年十月本同盟東京聯合會ノ幹部會ニ於テハ
「從來労働運動ハ動モスバ社会主義運動ト誤解セラ
ル、感アリ之レ一時ノ景氣ニ乘シ社会主義者等カ利用セト
シ労働者モ亦之ニ利用セラレタル為テランモ斯クテハ益々世ノ誤
解ヲ招クラ以テ大正十年ヨリハ此區別ヲ明確ニシ本會ハ
労働運動ニテハ携ハルコトト決議セリ

又関西地方ニ於ケル神戸聯合會、機關誌「労働者新
聞」(大正十年三月号)ニ「労働運動者、責任ト題シ「勞
働運動者ニ於テ是取テ恐ルヘシ誘惑ト云フヘキモノハ所謂識
者殊ニ社会主義者」カラ發セラル、誘惑テアル即チ之等ノ
人、為ス地評カ直ニ労働運動者ヲ駈テ誘惑、淵ニ陥